

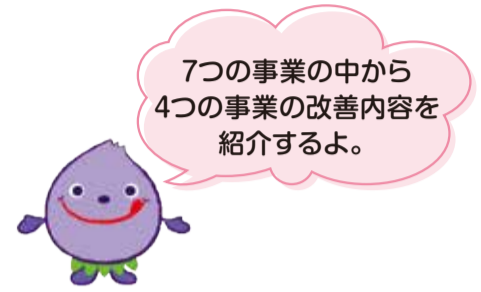
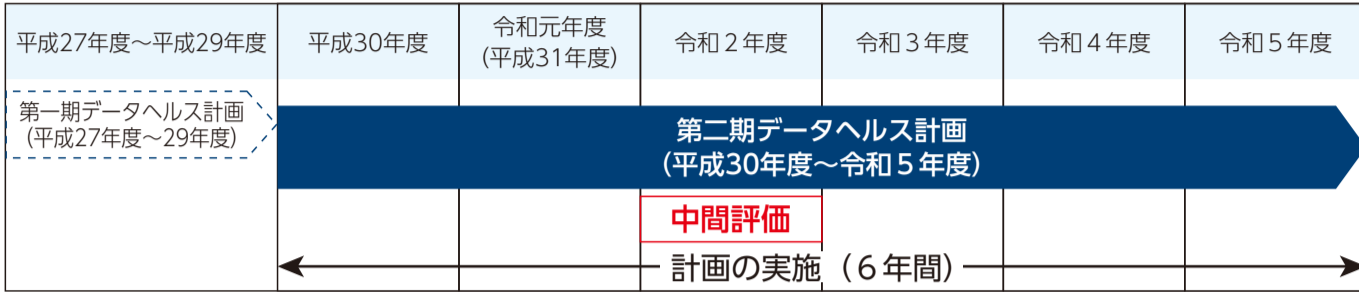
小平市 国民健康保険

第二期データヘルス計画の中間評価を行いました

健康増進（健康寿命の延伸）及び医療費の適正化を目的とした事業計画として、平成30年度からの6年間を期間とする「第二期小平市国民健康保険データヘルス計画」を策定し、保健事業を実施しています。

その中間年度にあたる令和2年度に、7つの事業の達成状況を有効性・効率性の観点から評価を行い、見直しや改善を行いました。

事業判定…A うまくいっている B まあ、うまくいっている C あまりうまくいっていない D まったくうまくいっていない E わからない



健診異常値放置者受診勧奨事業

特定健診の健診結果に異常があった方で、医療機関を受診されていない方に対して、医療機関の受診を勧奨する通知を行っています。早期に医療機関を受診することで、生活習慣病の重症化を予防することができます。

この事業では、勧奨通知送付回数、通知対象者の医療機関受診率を評価指標としています。



表1

評価指標	目標値	実績値(R1)	事業判定
勧奨通知送付回数	1回	1回	B
医療機関受診率	20%	16.3%	

見直し内容

医療機関受診率を向上させるために、通知文書の内容の見直しを図り、対象者の特性に合わせた文書とすることを予定しています。また、通知送付回数を2回に変更します。

糖尿病重症化予防指導事業

糖尿病治療中の方を対象に、保健師等の専門職による訪問面談指導と電話指導を行っています。

この事業では、プログラム参加者数、プログラム参加者の人工透析移行者数等を評価指標としています。



表2

評価指標	目標値	実績値(R1)	事業判定
プログラム参加者	30人	11人	B
人工透析移行者数	0人	0人	

見直し内容

人工透析移行者数は0人であり、重症化の予防につながっています。プログラム参加者数を増やすため、訪問面談に加え、オンライン面談を追加し、対象者が参加しやすい事業を目指します。

多受診者指導事業（訪問健康相談）

医療機関通院中の方を対象に、複数の病院でもらった薬の影響や、療養の仕方、重複・頻回受診のチェックなど医療機関や福祉サービスの利用方法に関する相談やアドバイスを、訪問相談員により行います。

この事業では、指導実施者数と、指導後の受診行動の適正化率を評価指標としています。



表3

評価指標	目標値	実績値(R1)	事業判定
指導実施者数	50人	48人	B
受診行動適正化率	100%	91.7%	

見直し内容

重複・頻回受診に関するリーフレットを配布し、指導実施者以外を対象者及び被保険者に対しても、広く受診行動の適正化を周知します。また、受診行動の適正化が図れていない指導実施者に対しては、必要に応じて市の保健師等によるフォローアップを検討しています。

ジェネリック医薬品差額通知事業

ジェネリック医薬品の普及率向上を目的とし、対象者に通知書をお送りしています。通知には、ジェネリック医薬品とは何か、先発医薬品からジェネリック医薬品へ切り替えることで、どのくらい薬剤費が軽減できるか等の情報を記載しています。

この事業では、ジェネリック医薬品の使用割合を評価指標としています。



表4

評価指標	目標値	実績値(R1)	事業判定
使用割合	80%	75.6%	B

見直し内容

目標値である80%達成のため、さらなるジェネリック医薬品の認知率向上を図ります。市民の皆様に向けたチラシを用意し、窓口への配架や市のイベントで配布することを予定しています。

第二期データヘルス計画全体の中間評価

第二期のデータヘルス計画では、健康寿命を延伸し、医療費の適正化を図ることを目標としています。中間評価実施時点の、健康寿命及び医療費の状況から評価を行いました。

表5

評価視点	評価指標	現状分析		事業判定
【結果】 (アウトカム)	健康寿命が延伸できているか。 ※平均自立期間 (要介護2未満の期間)	計画策定時よりも健康寿命は延伸できている。		B
	医療費の適正化が図られているか。 ※一人当たり医療費 (入院・外来合計)	医療費は年々増加傾向にあり、さらに東京都平均よりも小平市は医療費が高くなっている。		
		【計画策定時】 平成28年度 (東京都平均) 男79.6歳 (男79.1歳) 女83.9歳 (女83.9歳)	【中間評価時】 令和元年度 (東京都平均) 男80.4歳 (男79.1歳) 女83.9歳 (女83.9歳)	
		【計画策定時】 平成28年度 (東京都平均) 22,341円 (22,052円)	【中間評価時】 令和元年度 (東京都平均) 24,143円 (23,660円)	

令和3年度から、がん検診の秋期検診のリーフレットを全戸配布する、健診異常値放置者受診勧奨通知の送付回数を2回に増やす、糖尿病性腎症重症化予防プログラムにオンライン面談を取り入れるなどの見直しを行います。

関係各所と連携したデータヘルス計画の各種事業を引き続き実施し、特定健診やがん検診の受診率向上、医療機関への早期受診を促すことで、健康寿命の延伸及び医療費の適正化を図っていきます。

問合せ 保険年金課 国民健康保険担当 ☎042(346)9529